

富士通コンポーネントグループ 2021年度 環境報告書

富士通コンポーネントグループは、環境を経営の最重要課題の一つとし、提供する製品・サービスと事業活動に伴う環境負荷の低減に努め、持続可能な社会の実現と地球環境保全に貢献していきます。

1. ごあいさつ

富士通コンポーネントグループは、「環境を大切に、より良い企業活動を行うこと」を理念として、1998年より環境負荷の低減活動を実施しております。

環境の潮流としては、2020年以降の温暖化対策の国際枠組み『パリ協定』が2016年11月に発効し、脱炭素社会の実現に向けて動き出しました。世界的に環境保全の機運が高まる中、2015年に持続可能な開発目標（SDGs）が採択されるなど、ますます環境に対する取り組みが要求されています。

富士通コンポーネントグループでは、エネルギー効率や資源効率に優れた製品開発や、製造工程におけるエネルギー削減、廃棄物削減、廃棄物の有価化等を通じた環境負荷低減活動や、社会貢献活動を通じた環境保全に取り組んでいます。

また、SDGsの目標に沿ったアプリケーションに向けた製品、例えば、クリーンなエネルギーへのアクセス確保に向けたEV/PHVや太陽光発電用のリレー、産業と技術革新の基盤を作るインフラ整備に役立つメッシュネットワーク用製品といった製品の開発を促進することにより、我々のお客様を通しての持続可能な社会実現の加速にも貢献しています。

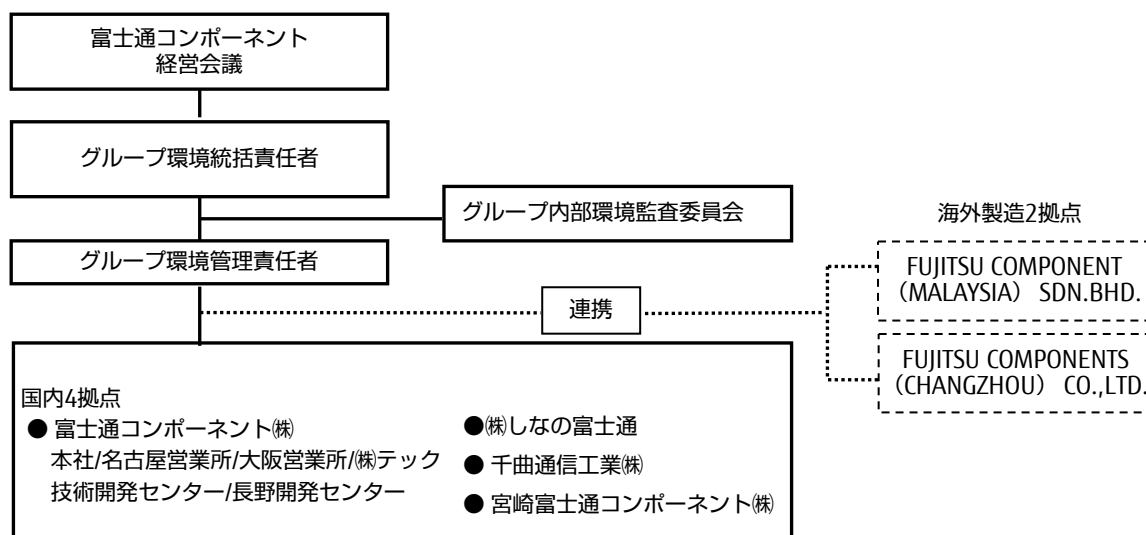
こうした事業環境や製品開発、環境保全活動を実行することにより、直接的/間接的に人と環境にやさしい社会の実現を目指しています。



富士通コンポーネント株式会社
代表執行役社長 木下雅博



2. 富士通コンポーネントグループ環境活動の推進組織体制



3. 会社概要

本社	富士通コンポーネント株式会社
所在地	〒140-8586 東京都品川区東品川4-12-4 品川シーサイドパークタワー
代表者	代表執行役社長 木下雅博
設立	2001年10月1日
事業内容	リレー、キーボード、タッチパネル、ポインティングデバイス、サーマルプリンタ、無線モジュール、サーバ・コンソールスイッチ、複合デバイス（ユニット製品）の製造・販売
資本金	9千万円
資本剰余金	128億1千万円（2021年3月29日現在）
売上高	400億円（連結 2020年3月期）
決算期	3月31日
従業員数	2,998名（連結 2020年7月10日現在）
グループ構成	当社含み国内5社（うち1社は販売会社）、海外8社（うち6社は販売会社）の13社にて構成。

4. 環境方針

■ 富士通コンポーネントグループ環境方針

理念

当グループは、地球環境保全への取り組みを最重要課題であると認識し、「環境を大切に、より良い企業活動を行うこと」を理念とし、コンポーネント製品の開発、設計、製造、販売を行う企業であることを踏まえ、低炭素で豊かな社会の実現に向けて、ISO14001に準拠した環境マネジメントを推進する。

行動指針

- ・当グループの活動、製品、サービスに関わる環境側面を常に認識し、環境汚染の予防を推進すると共に環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。
- ・環境と経済の両立に貢献する製品を積極的に提供する。
- ・当グループの活動、製品、サービスに関わる環境関連法規、当グループが同意するその他の要求事項を順守する。
- ・当グループ指定の有害物質を「入れない」「使わない」「付けない」「出さない」の考えで全廃を維持する^(注1)。
- ・社員一人ひとり、それぞれの業務と市民としての立場を通じて、持続可能な資源の利用^(注2)、気候変動対策や生物多様性保全を始めとした環境改善に努め、更に広くこれらの社会への普及啓発を図る。

注1 法規制等から除外される用途は対象外とする。

注2 資源の多くは枯渇性のものであり、可能な限り長期に活用できるよう資源を有効に使用するため、環境配慮設計、省エネ、省資源、廃棄物削減、リサイクル等を推進すること。

重点項目

当グループの活動、製品、サービスに関わる環境側面のうち、次の項目を環境マネジメントの重点項目として取り組む。

1. 製品のライフサイクルにおける環境価値の向上
2. 社会貢献活動の推進
3. 温室効果ガスCO₂排出量の削減
4. エネルギー消費原単位の改善
5. 廃棄物排出量原単位の改善

附則

1. この環境方針は、文書化し、当グループの全領域、全社員に周知させるとともに、一般の人にも開示する。
2. この方針の取扱部門は、富士通コンポーネントグループ環境マネジメント事務局とする。

2021年4月1日
富士通コンポーネントグループ
環境統括責任者

5. 富士通コンポーネントグループ第8期環境行動計画 /実績 (2019年度～2021年度)

富士通コンポーネントグループ第8期環境行動計画を策定し、2021年度末までの具体的な取り組みを設定しています。2020年度は、全ての項目において目標を達成しました。

項目	第8期環境行動計画 (目的)	2020年度	2020年度	2021年度
		目標	実績	目標
社会への貢献	【製品のライフサイクルにおける環境価値の向上】 環境に配慮し、(1) 項または (2) 項のいずれかを満たした新製品を2021年度末までに10製品以上開発する。 (1) エネルギー効率がトップレベル製品 (注1) (2) 新製品の資源効率 (注2) を1%以上向上した製品 (注3) (基準年度：2016年～2018年)	3製品開発	4製品開発	3製品
	【社会貢献活動の推進】 (1) 社員が社会とともに取り組む社会貢献活動を継続する。 (2) 生物多様性など社会・環境課題の解決に取り組む活動に対し、資源提供などの活動を推進する。	35件	36件	36件
自らの事業活動	【温室効果ガスCO₂排出量の削減】 継続的省エネルギーにより、2021年度末までに、3,132 t-CO ₂ (注4) の省エネ削減施策を実施する。	893 t-CO ₂	1,449.9 t-CO ₂	779 t-CO ₂ (注5)
	【エネルギー消費原単位の改善】 事業所におけるエネルギー消費原単位 (注6) を年平均1%以上改善する。	別表1参照		対象3事業所で年平均1%以上改善する。
	【廃棄物排出量原単位の改善】 廃棄物排出量原単位 (注7) について、2021年度末までに18年度実績以下に改善する。	別表2参照		18年度実績以下に改善する。

別表1 エネルギー消費原単位における2020年度結果

拠点名	原単位の根拠	2020年度目標 (注8)	2020年度実績
富士通コンポーネント技術開発センター	$\frac{\text{エネルギー使用量 (kl)}}{\text{売上げ金額 (百万円)}}$	0.666	0.656
しなの富士通	$\frac{\text{エネルギー使用量 (kl)}}{\text{売上げ金額 (千万円)}}$	1.400	1.330
宮崎富士通コンポーネント	$\frac{\text{エネルギー使用量 (kl)}}{\text{生産数量 (千個)}}$	0.0139	0.0128

別表2 廃棄物排出量原単位における2020年度結果

拠点名	原単位の根拠	2020年度目標 (2018年度実績)	2020年度実績
富士通コンポーネント技術開発センター	$\frac{\text{排出量 (kg)}}{\text{売上げ金額 (百万円)}}$	88.7 (注9)	85.7
しなの富士通	$\frac{\text{排出量 (kg)}}{\text{売上げ金額 (百万円)}}$	22.3	19.3
千曲通信工業	$\frac{\text{排出量 (kg)}}{\text{生産数量 (百万個)}}$	49.0	38.5

(注1) エネルギー効率においてトップレベル製品 (世界初、業界初、世界最高、業界最高など) をはじめとした、市場の上位に相当する基準を満たす製品

(注2) 製品の省資源化 (製品の小型化、軽量化、薄型化、部品点数の削減) または資源循環性 (廃棄量の削減、リサイクル性) の向上

(注3) 開発計画に基づき、対象となる製品の条件見直しを実施

(注4) 18年度CO₂排出量20,870t-CO₂を3箇年で15% (年平均で5%程度) 削減

(注5) 2019年度および2020年度の温室効果ガスCO₂削減量実績値を考慮し、2021年度の温室効果ガスCO₂削減目標値を912t-CO₂から779t-CO₂に変更

(注6) エネルギー消費原単位=エネルギー消費量 (kl原油換算) / 生産量 (売上げ金額または生産数量)

(注7) 廃棄物排出量原単位=廃棄物排出量 (kg) / 生産量 (売上げ金額または生産数量)

(注8) 生産状況に応じ2020年度目標の見直しを実施

(注9) 2018年度まで資源としてカウントしていた物が世界情勢により廃棄物となったため、2018年度廃棄物排出量実績に上乘せし、目標値を66.9から88.7に変更

6. 環境への取り組み

■ 環境配慮製品の開発

富士通コンポーネントグループでは、エネルギー効率や資源効率に優れる製品の開発を推進し、環境と経営の両立に貢献する製品を積極的に提供しています。

■ 主な開発製品



フルHD対応ドローワー

車載電装用リレー

無線モジュール

タッチパネル

区分	製品群	開発製品	削減率（従来品比）
エネルギー効率	KVM	フルHD対応ドローワーの高効率LCDユニットへの変更による消費電力の削減FD-6000DVI/NP	消費電力削減率：1.4%
	リレー	車載電装用リレーFTR-K5	消費電力削減率：25%
	無線モジュール	Bluetooth5対応モジュールFWM7BTZ61の開発	消費電力削減率：70%
資源効率	タッチパネル	後貼りフィルム排除による製品重量の削減（4線式抵抗膜方式タッチパネル8型格に適用）	重量削減率：21%



■ 社会貢献活動

富士通コンポーネントグループ各社は、地域社会との共生や生物多様性保全を目的に、社員のみならず家族も参加した社会貢献活動を行っております。感染症影響下での活動のため、柔軟な発想での社会貢献活動を拡大しています。



■ 主な活動内容



コンタクトレンズケースの回収・寄付
富士通コンポーネント本社（東京都品川区）



会社周辺の清掃活動（左）、近隣養護学校で育てた野菜販売（右）
富士通コンポーネント技術開発センター（長野県須坂市）



飯山市まちづくり課主催（フラワーロード）への参加
しなの富士通（長野県飯山市）



工場周辺の除草作業（生物多様性保全活動）
宮崎富士通コンポーネント（宮崎県日南市）



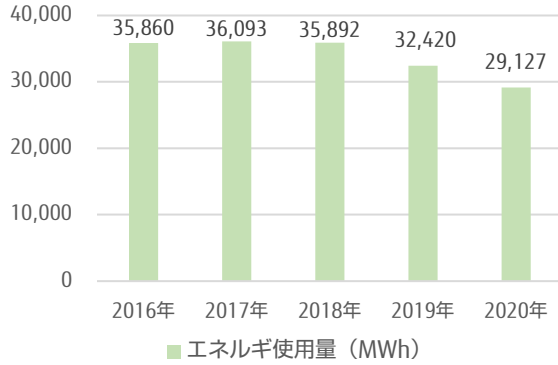
工場周辺の清掃活動
千曲通信工業（長野県佐久市）

■ 地球温暖化防止への取組み（温室効果ガスCO₂排出量の削減、エネルギー消費原単位の改善）

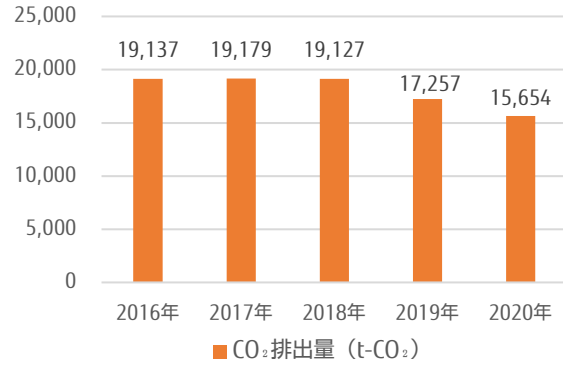
エネルギー効率の改善によるCO₂排出削減のために、各拠点において電力、A重油、LPG等の動力削減に取り組んでおり、再生可能エネルギー導入も検討中です。また上水や地下水の使用量削減にも、継続して取り組んでおります。



■ エネルギー総使用量の推移

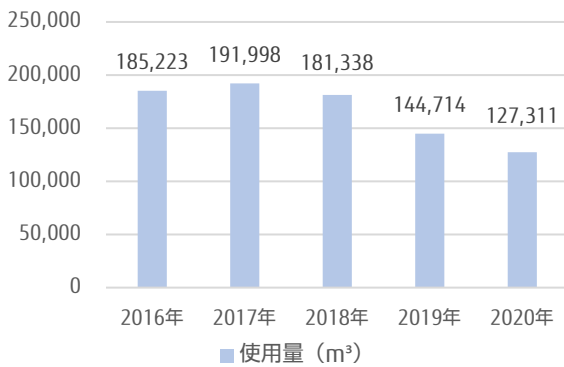


■ CO₂排出量の推移 (注1)



(注1) CO₂換算係数を見直し、2016年度からのCO₂排出量を変更

■ 水使用量の推移

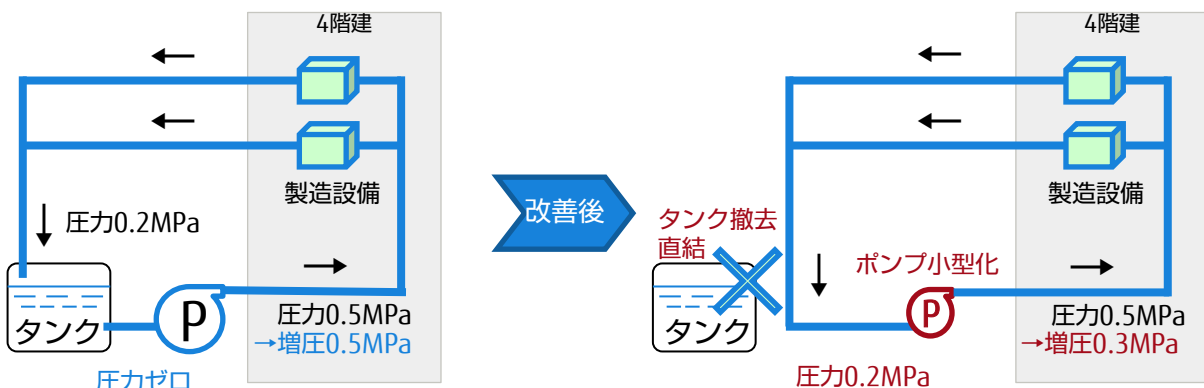


トピックス

【冷却水システム】 落差エネルギー利用によるCO₂排出量の削減

エネルギー使用効率の改善によるCO₂排出削減のために、国内4拠点の代表者で構成する省エネルギー推進WG（ワーキンググループ）による削減活動を継続しています。

2020年度の活動では、冷却水タンクを撤去・直結し、落差エネルギーを利用することで、ポンプ動力削減を図りました。これにより年間39.6t-CO₂を削減しました。

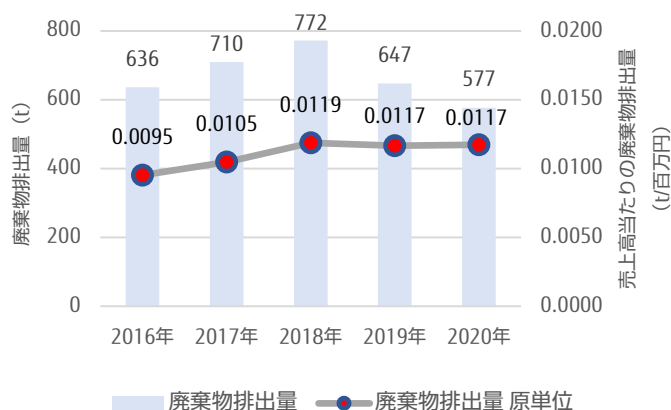


■ 産業廃棄物削減への取り組み

富士通コンポーネントグループでは、社員一人ひとりが3R（リユース・リデュース・リサイクル）の推進を意識し、分別に取り組んでいます。
また職場や製造工程から排出する廃棄物は再使用やリサイクル（再資源化）を推進して、排出量の削減に努めています。



■ 廃棄物排出量の推移



※廃棄物排出量は、国内拠点のみ
対象拠点：技術開発センター、しなの富士通、宮崎富士通コンポーネント、千曲通信工業

7. 製品含有化学物質管理とグリーン調達

■ 製品含有化学物質管理

すべての購入品は「環境共通購入仕様書」により欧州RoHS指令、REACH規則などの環境法規制に適合した調達を推進しております。

「環境共通購入仕様書」にて指定した富士通コンポーネントグループの含有・使用禁止物質に対しては「含有禁止適合保証書」による適合確認、さらに「chemSHERPA」^(注1)による環境法規制順守の確認を行い、富士通コンポーネントグループの製品および製造工程への含有・使用禁止物質の混入防止や地球環境の保全および生態系への影響の軽減に取り組んでいます。

(注1) アーティクルマネジメント協議会 (JAMP) の情報伝達共通スキーム
(Chemical information Sharing and Exchange under Reporting Partnership in supply chain)



■ グリーン調達

サプライチェーンを通じた環境負荷低減活動を進めており、取引先様には環境マネジメントシステムの構築と地球温暖化防止の活動について取り組みをお願いしています。

8. 責任ある鉱物調達対応

■ 高リスク鉱物への対応

当社製品は、経済協力開発機構（OECD）のガイダンス（注1）を参考にし、高リスク鉱物の調査（注2）を推進しております。

調査では、Responsible Materials Initiative（RMI）の報告テンプレート（紛争鉱物およびコバルト）を使用しています。

お客様のご要求に信頼できる情報を提供するため、引き続き製錬業者特定やサプライチェーン透明化への取り組みを行ってまいります。

（注1）紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス

（注2）タンタル・錫・金・タングステンおよびコバルトを調査・特定



9. 外部コミュニケーション（外部評価）

■ ISO14001：2015年版の外部認証を取得

富士通コンポーネントグループでは、2016年度からISO14001：2015年版による運用を開始しました。

2017年度に移行審査を受審し、2015年版に移行して認証を維持しております。



■ EcoVadis サステナビリティ評価で「シルバー」を獲得

EcoVadis社（本社：フランス）のサステナビリティ評価において

総合62点で「シルバー」と認定されました。

特に「環境」においては積極的な取り組みが評価され、80点という高い評価を得ております。



■ 本書に関する問い合わせ

富士通コンポーネント株式会社
事業推進ディビジョン事業企画セクション
環境EMSチーム

住所 〒382-0076 長野県須坂市大字須坂1174
Tel 026-248-7824
E-mail fcl-contact@cs.jp.fujitsu.com

本報告書は、ISO14001にかかわる当社環境マネジメントが統括する日本国内の組織に関するものです。

富士通コンポーネント株式会社

〒140-8586
東京都品川区東品川4-12-4 品川シーサイドパークタワー

発行責任部署 事業推進ディビジョン事業企画セクション
編集責任部署 営業統括ディビジョン支援セクション
発行年月日 2021年7月30日
記載事項対象期間 2020年4月1日～2021年3月31日（2021年度計画も含む）